

上川地域を支える担い手育成・人材確保プロジェクト

【推進エリア】上川地域

【主な実施主体】国・道・市町村・民間・教育機関

目 的

人口減少や少子高齢化の進行により、地域産業を支える働き手の不足が喫緊の課題であり、その対策が必要となっています。

このため、上川地域の魅力や産業・雇用などの情報を広く発信し、若年層をはじめとする現役世代の移住・定住を促進するほか、管内企業の採用力や生産性の向上、職場教育の充実による多様な働き方に対応した職場環境整備の促進、地域連携による人材確保等の取組の推進など、今後の人口減少社会を見据えた地域産業の担い手・後継者対策を進めていきます。

施策展開

- 【施策】
- 地域連携による人材確保等の取組の推進
 - 各分野の担い手育成・人材確保に向けた取組の推進
 - 担い手確保に向けた移住・定住の促進及び関係人口[※]の創出・拡大

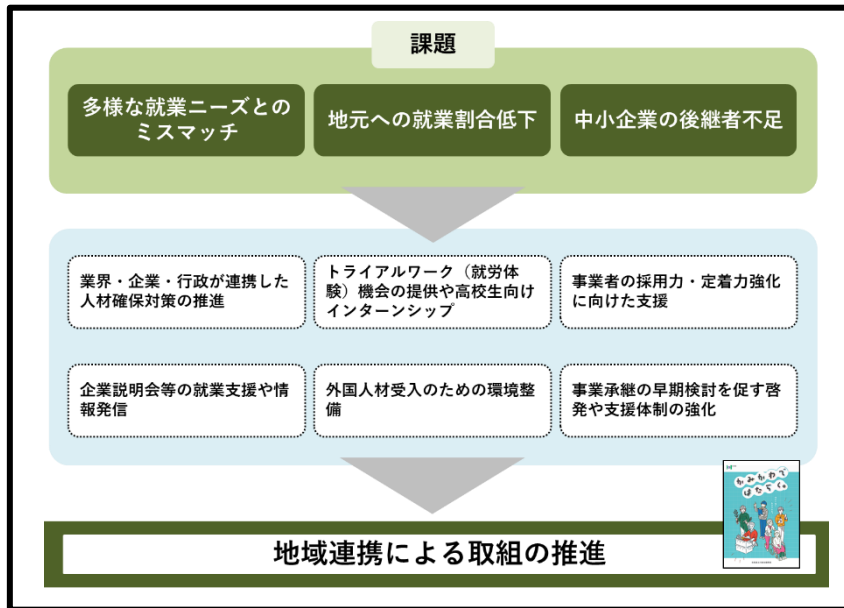
〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI[※]）〉

○地域産業への新規就業者数	農 業	75 人 (R 4)	→	80 人 (R11)
	林 業	45 人 (R 4)	→	46 人 (R11)
○管内新規高卒者の就職者に占める管内就職の割合		67.4% (R 5)	→	75.0% (R11)
○管内地域おこし協力隊 [※] 員数		243 人 (R 5)	→	372 人 (R11)
○テレワーク [※] 施設等を利用してワーケーション [※] を行った人数		12,798 人 (R 5)	→	145,776 人 (R11)

<施策毎の主な取組方向>

■ 地域連携による人材確保等の取組の推進

- 業界・企業・行政が連携した人材確保対策の推進
- 高校生の地域定着に向けた就業支援や情報発信
- 産学官金*連携によるトライアルワーク*事業の推進
- 事業者の採用力・定着力強化に向けた支援
- 外国人材受入のための環境整備
- 中小企業の円滑な事業承継の促進



■ 各業界の担い手育成・人材確保に向けた取組の推進

- 新規就農者等を対象とした研修会の開催
- 高校生を対象とした農業研修や林業学習会の実施
- 「北海道立北の森づくり専門学院*」と連携した地域の林業・木材産業を担う人材の育成・確保
- 介護や保育人材の定着支援
- 福祉介護職のイメージアップにかかる取組の推進
- 公共交通や物流を担う人材の確保を推進する取組の実施



■ 担い手確保に向けた移住・定住の促進及び関係人口[※]の創出・拡大

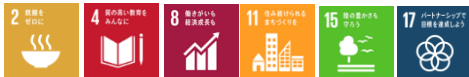
- 移住・定住の促進に向けた情報の発信や地域の魅力PR
- 地域おこし協力隊[※]への取組支援
- 関係機関との連携による移住促進会議等の開催
- ワーケーション[※]の推進など関係人口の創出・拡大



関連する主な基盤整備

- 公立学校施設の整備

関連するSDGsの目標



上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト

【推進エリア】上川地域

【主な実施主体】国、道、試験研究機関、大学、市町村、民間

目 的

多種多様な農畜産物が生産される上川地域の農業においては、低コスト・省力化に向けた取組を進めるとともに、良食味米をはじめとした高品質で安全・安心な農畜産物の生産を推進します。また、全道で最も広い森林面積を擁しており、認証を取得した森林から産出される木材を、林業・木材産業関係者が連携しながら地域内で利用する取組を促進し、豊かな森林資源の循環利用[※]を推進します。

こうした取組のほか、農畜林産物を利用した6次産業化[※]や農商工連携[※]による付加価値の向上に向けた取組を進めるとともに、森林づくりへの理解促進や環境保全型農業の推進など、ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組を推進し、地域が有する豊かな資源を活かし上川地域の基幹産業である農林業の持続的な発展を図ります。

施策展開

- 【施策】
- 農業生産の低コスト・省力化と農畜産物の高付加価値化等の推進
 - 適切な森林づくりと森林認証[※]材の利用拡大の推進
 - 「ゼロカーボン北海道[※]」の実現に向け地域資源を活かした取組の推進
 - 農商工連携による地場産品の高付加価値化や販路拡大

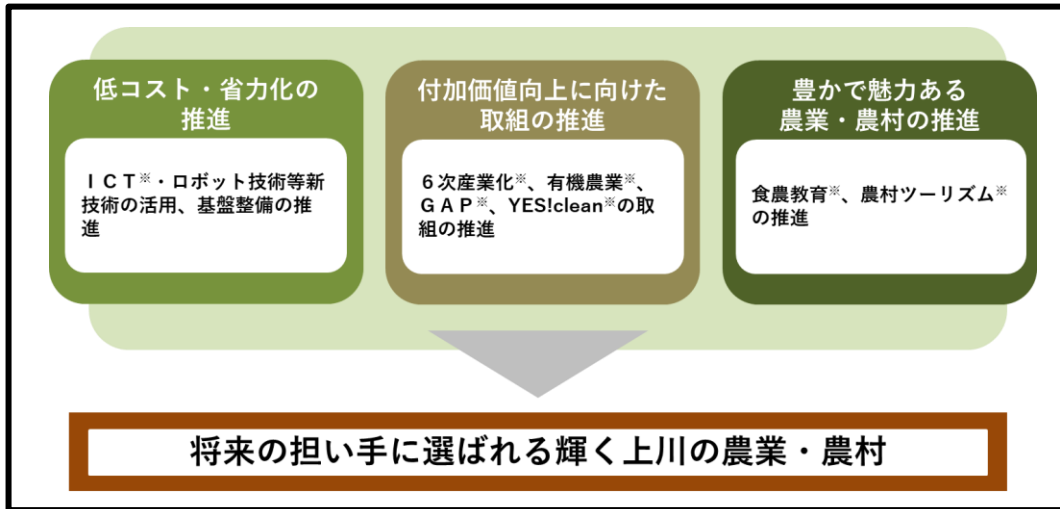
<プロジェクトの重要業績評価指標（KPI[※]）>

○省力化等による主要農作物作付面積の維持	79,094 ha (R4)	→	79,000 ha (R11)
○上川地域の製材出荷量	142 千m ³ (R4)	→	152 千m ³ (R11)
○植林の実施面積（年間）	1,322 ha (R5)	→	1,602 ha (R11)
○食品工業の付加価値額	324 億円 (R3)	→	356 億円 (R11)

＜施策毎の主な取組方向＞

■ 農業生産の低コスト・省力化と農畜産物の高付加価値化等の推進

- 地域の実情に応じた低コスト・省力化の推進
- 付加価値向上に向けた取組の推進
- 豊かで魅力ある農業・農村の確立



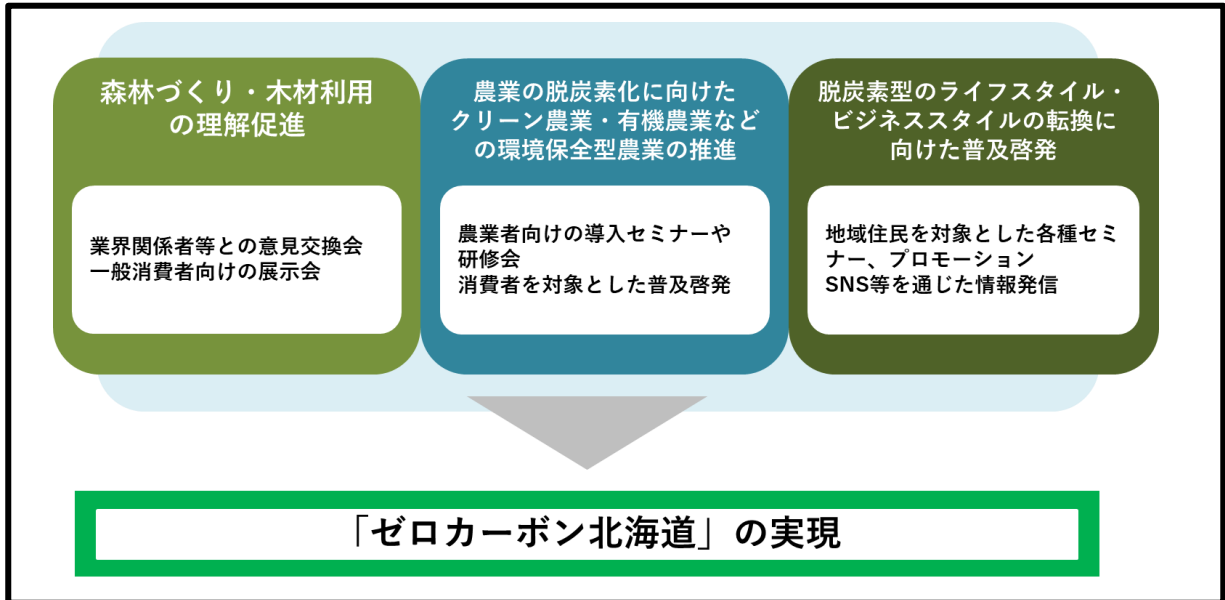
■ 適切な森林づくりと森林認証材の利用拡大の推進

- 地域の特性に応じた森林づくりの推進
- 地域の特色を活かした森林認証材の利用促進
- 道民や企業等との協働による森林づくり



■ 「ゼロカーボン北海道[※]」の実現に向け地域資源を活かした取組の推進

- 森林づくり・木材利用の理解促進
- 農業の脱炭素化[※]に向けたクリーン農業[※]・有機農業[※]などの環境保全型農業の推進
- 脱炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルの転換に向けた普及啓発



■ 農商工連携[※]による地場産品の高付加価値化や販路拡大

- アンテナショップ等を活用したマーケティング[※]支援
- 地場産品のブランド化とビジネスマッチング支援
- 食クラスター[※]活動の推進



関連する主な基盤整備

- 農畜産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備
 - ・農業生産基盤の整備推進
- 健全な森林の整備と保全の促進
 - ・森林及び路網の整備促進
 - ・山地災害を防ぐ治山施設の整備
- 物流ネットワーク形成のための道路網の整備
 - ・高規格道路と一体となった道路の整備
 - ・空港、港湾などの物流拠点やI Cへのアクセス道路の整備
- 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備
 - ・観光拠点へのアクセス道路の整備
- 自然豊かな水辺環境の整備・保全
 - ・河道の連続性に配慮した砂防施設の整備
 - ・良好な水辺環境の保全・創出を推進

関連するSDGsの目標



自然と共生する上川地域づくりプロジェクト

【推進エリア】上川地域

【主な実施主体】国、道、市町村、民間

目的

大雪山国立公園や天塩岳道立自然公園など上川地域が誇る優れた自然環境を貴重な資産として後世につなげるため、関係機関・民間団体と連携して自然環境を保全しながら適正利用を図る取組を推進するとともに、生物多様性^{*}の恵みを将来にわたって受けるため、エゾシカやヒグマ等野生生物の保護管理を推進するなど、自然と共生する地域づくりを進めていきます。

施策展開

- 【施策】 ■ 魅力的な自然環境の保全・適正利用の推進
■ 野生生物の保護管理の推進

〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI^{*}）〉

○登山道補修イベント参加人数	70人（R6）	→	80人（R11）
○エゾシカ捕獲推進プラン達成率	71.7%（R4）	→	100.0%（R11）
○ヒグマ春期管理捕獲実施市町村数	8（R6）	→	16（R11）

魅力的な自然環境の保全・ 適正利用の推進

高山植物保護や適正利用のためのパトロール
官民協働型の自然公園施設維持管理
大雪山の魅力等を伝えるための情報発信
自然観察会の開催 等



野生生物の保護管理の推進

エゾシカの捕獲による個体数管理
ヒグマによる人身被害防止、人里への出没抑制
鳥獣による農林業被害防止
野生鳥獣捕獲の担い手確保
外来生物防除の推進、普及啓発 等



自然と共生する上川地域の実現へ

<施策毎の主な取組方向>

■ 魅力的な自然環境の保全・適正利用の推進

- 自然保護監視員等関係者による大雪山、天塩岳等自然公園等のパトロールの実施
- 官民協働型の自然公園施設維持管理や IT 技術を活用した管理の検討
- 大雪山の魅力、利用ルール、管理の課題等を伝えるための情報発信
- 自然観察会の開催 等

■ 野生生物の保護管理の推進

- エゾシカの捕獲による個体数管理
- ヒグマによる人身被害防止、人里への出没抑制
- 鳥獣による農林業被害防止
- 野生鳥獣捕獲の担い手確保
- 外来生物防除の推進、普及啓発 等

関連する主な基盤整備

- 自然豊かな水辺環境の整備・保全
 - ・河道の連続性に配慮した砂防施設の整備
 - ・良好な水辺環境の保全・創出を推進
- 高規格道路の整備
- 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備
 - ・観光拠点へのアクセス道路の整備

関連するSDGsの目標

